

JSAF 派遣生 留学レポートより

先輩はアムステルダム自由大学でこんな授業を受けています！

Vrije Universiteit Amsterdam(オランダ・アムステルダム) 2024 年夏・秋派遣生の履修科目紹介

「留学中、実際にどんな授業を受けるの？」——参加を検討中の皆さんから一番多く寄せられる質問です。このページでは、アムステルダム自由大学へ派遣された先輩の留学レポートから、履修した科目を授業内容や先輩のリアルな感想とともに紹介します。

◆ 先輩レポート 1 国際色豊かなキャンパスでコミュニケーション学を幅広く学んだ先輩

在籍:神戸市外国語大学 外国語学部 英米学科(3 年・休学留学・2024 年夏・秋派遣)

コミュニケーション・サイエンス系の科目を中心に、1 年間で計 6 科目(各 6EC)を履修しました。英語で開講される授業はかなり国際色豊かで、アジアや他のヨーロッパ地域、アメリカからの交換留学生とともに授業を受けたそうです。2 学期目には、すべての学生が受講できるエキストラのコース(Broader Mind Course Track)にも登録し、英語で話す機会を積極的に増やしました。

— 1 学期目 —

Introduction to Communication Science(S_ICs/6EC)	
履修した先輩	神戸市外国語大学 外国語学部の先輩
クラス規模	約 256 人(オランダ人以外の学生が多め)。セミナーは 30 人ほど。
評価方法	2 回の個人デジタル試験(90%)と、毎週の準備テスト(個人・グループ各 5%)。チーム課題によるボーナス加点もありました。
どんな授業？	コミュニケーション学で提唱される様々な理論を毎回の授業で学びます。アジェンダ・セッティング理論や不確実性減少理論など、どういう状況だと説得されやすいのか、初めての人と話すときはどのような傾向があるのか、社会的・文化的グループが私たちの物事の認識にどのような影響を与えているのかなど、幅広い事柄を扱う授業です。
先輩の声	一つ一つの理論を学ぶにつれて新たな考え方を得ることができ、勉強するのがとても楽しかったです。コミュニケーションという毎日することについての学問なので日常生活に当てはめやすく、自分たちの経験を理論にあてはめて分析するグループワークの課題も楽しく行えました。ただ、理論を順番に習っていく過程で、自分の頭の中で関連づけたり派生して考えたりしないと退屈になってしまうとも感じました。

Media Entertainment(S_ME/6EC)	
履修した先輩	神戸市外国語大学 外国語学部の先輩
クラス規模	約 216 人。オランダ人以外の留学生や正規生が履修。
評価方法	筆記試験(60%)と 3 つの課題(グループ 2 件・ペア 1 件、計 40%)。
どんな授業？	エンターテインメントとしてメディアを楽しむことを学問的な側面から捉える授業です。人々が明るい、もしくは悲しい映画を見るのはどうしてなのか、人々は何を目的としてメディアを消費するのかを学びます。
先輩の声	普段深く考えずに音楽を聴いたりドラマを見たりしていることを理論的に考えるのが新鮮で、講義の後に「なぜ自分は今この音楽を欲しがっているのだろう」と考えられるようになったのが楽しかったです。一方で、グループ課題ではメンバーを動かすことに苦労しましたし、毎回のリーディングの量が多くタイムマネジメントも大変でした。

Media, Society and Politics(S MSP／6EC)	
履修した先輩	神戸市外国語大学 外国語学部の先輩
クラス規模	約 366 人。オランダ人とそれ以外が半々ほどで、セミナーは 25 人ほど。
評価方法	最終デジタル試験(80%)とディベート課題(ツールでの演習、ディベートカード、ディベートへの参加、審査エッセイなどで 20%)。
どんな授業？	メディアが私たちの政治に関する考え方にどのような影響を与えているのかを学ぶ授業です。政治家が持つ力はメディアにおける力と同じであると言えること、報道されるニュースにはすべてバイアスがかかっていることなどを扱います。
先輩の声	講義もセミナーで行うディベートも、とても苦労した科目です。政治学に日本で触れたことがなく、アメリカの選挙に関する話を中心に講義が進むときは前提となる知識が欠けていて、理解が難しい部分が多くありました。ディベートではグループ内での自分の役割は果たせましたが、チームとして勝つことはできず、説得力のある議論・主張の仕方の難しさを感じました。

— 2 学期目 —

Behavior and Communication in Organizations(S BCO／6EC)	
履修した先輩	神戸市外国語大学 外国語学部の先輩
授業形式	週 2 回のレクチャーと、計 2 回のセミナー。
評価方法	最終試験(80%)と 2 回のグループ課題(各 10%)。
どんな授業？	企業内のコミュニケーションについて学ぶ授業です。複数人のコラボレーションはどういう時に働くのか、効果的なリーダーシップとはどういうものか、パフォーマンスを上げる・下げる要因など、企業の様々な側面に関する内容でした。
先輩の声	セミナーで行うグループワークの課題が興味深かったです。ある問題を抱えた企業がケースとして与えられ、レクチャーの内容を生かしながら解決策を提案するという、まさにコンサルティングの練習でした。医療機関におけるジェンダー平等をテーマにしたプレゼンでは、先生や他の学生をクライアントの職員とみなしてピッチを行うという緊張感のある設定に、達成感を感じました。

Communication Cultures(L AABACIW202／6EC)	
履修した先輩	神戸市外国語大学 外国語学部の先輩
授業形式	週 2 回のレクチャーと、週 1 回のセミナー。
評価方法	多肢選択式の試験(70%)と毎週のグループ課題(30%)。
どんな授業？	様々な視点から見た文化について学ぶ授業です。ホフステッドによる 6 次元モデル、ミーム文化、サイン・アイコン・シンボル、非言語コミュニケーションなどのテーマがありました。
先輩の声	セミナーで行うグループワークの課題に苦戦しました。各週のテーマに関連した課題が出されるのですが、課題の内容自体が複雑だったり、アイデア出しやディスカッションの速さに圧倒されることがあったりして、労力を使いました。

Persuasive Communication(L_AABACIW110／6EC)	
履修した先輩	神戸市外国語大学 外国語学部の先輩
授業形式	週 2 回のレクチャーと、計 5 回のセミナー。
評価方法	試験(60%)と最終プロジェクト(40%)。
どんな授業？	説得的なコミュニケーションについての授業です。その特徴や、それを作る要素、人が簡単に説得される状況など、Persuasive Communication について研究されている事柄が解説されます。
先輩の声	このコース全体を通して作成するグループ課題に苦勞しました。レクチャーで解説された理論などを参考に、任意の企業に対してキャンペーンを提案するという内容で、理論を知っていても想像力を働かせて案を出すのが難しく感じました。

先輩が感じた、アムステルダム自由大学の授業のここがすごい！

「私が履修した英語で行われる授業はかなり国際色豊かでした。アジアや他のヨーロッパ地域、アメリカからの交換留学生とともに授業を受けていました。」

「英語で意思疎通する機会が増え、留学前より自信がつけました。それによって英語で話す時の抵抗がなくなり、吸収が早くなったように思います。」

「オランダには多様な人がたくさんいて、本当に面白い国です。様々な背景を持つ人と関わることができて、刺激的な留学生活になると思います。」

—— 2024 年夏・秋派遣・神戸市外国語大学の先輩

※本ページの内容は 2024 年夏・秋派遣生の留学レポートに基づいています。開講科目・評価方法・単位数は変更になる場合があります。